



議員 和典 儀貝 (無会派)



一般質問

■子どもの国民健康保険税均等割免除について

子どもの国民健康保険税均等割の免除を！

質問 子供が生まれると、収入がないのに税負担が増える、国民健康保険の子供の均等割負担である。国保に加入している世帯で18歳までの子供がいる世帯数及び子供の数と均等割額は11月末時点でどれくらいか。国保の都道府県化に合わせて国保の保険者の努力支援制度が500億円規模で創設されており、自治体が条例を通じて独自の減免に充てる公費繰り入れは赤字に分類せず、20年度以降もペナルティの対象外としていく方針であることから、子供の均等割を廃止してもよい考えはあるか。

答弁 令和元年11月末現在、18歳までが加入している世帯数は384世帯、加入者数は667人である。18歳までの加入者の均等割額の総額は、2,521万3,000円となっている。

以前にもお答えしたとおり、当市として単独で18歳までの子供を対象とした均等割を免除することは考えていない。当市では、全国一律の制度として導入するよう全国市長会に、県では全国知事会を通じて国に要望しており、その動向を今後も注視していきたい。

【その他の質問項目】

- 災害対策及び避難所の整備について
- 子ども医療費窓口無料化について
- 自衛官募集実務について
- 保育料の無償化対象について
- 廃校など公共施設の利活用について
- 図書館利用者の情報管理について

一般質問

■能登は1つ運命共同体の立証へ

能登全域の首長サミット開催に市長のリーダーシップを！

質問 次の合併があるとすれば、悪い行政コスト面からも、能登全域が1つの大合併であろうと思うが、どのように考えるか。共通の目標に向かい協体制の構築やスケジュール共有ができ、また決定権者が集まることで事案採決や協議が速やかに進み、時間の短縮等が図れることへのメリットも多くなる、そんな成果が期待できる能登の首長サミットの開催を検討できないか。

答弁 能登の各自治体では、議会の理解と協力を得る中で、人口減少、少子高齢化社会におけるさまざまな課題に、それぞれその地域ならではの取り組みをしっかりと展開しているところである。一方で、能登地区の共通する課題に対し、のと里山空港の活用や能登自動車道、のと里山街道の建設促進、観光振興において能登半島広域観光協会、ごみの適正処理では石川北部RDF広域処理組合を通じ、連携して取り組みを進めている。テーマや課題ごとに連携協力が速やかな対応には適しており、重要だと考えていることから、その取り組みをしっかりと進めていきたいと思っている。これからも能登の各自治体と競い合いながら、あるいは連携協力しながら七尾市の発展、能登の発展のために必要な施策をしっかりと進めていきたい。

【その他の質問項目】

- 都市計画審議委員会の定義について
- 職員の採用の件について
- 観光誘客の拡大の仕掛けの件と現状の中間報告
- 職員の人材育成の点について



議員 忠一 杉本 (無会派)

